

## 《検討会議の取組状況》

### LGBT支援施策の連携検討会議

#### (1) 取組目標

LGBT等当事者支援と性の多様性に関する啓発の取組について、県と市町の情報共有と連携を図り、全ての人が住みやすい地域づくりに向けて検討を行います。

#### (2) 検討メンバー

市 町		県
津市／人権課 男女共同参画室	木曾岬町／住民課	○環境生活部人権課 ダイバーシティ社会推進課
四日市市／人権・同和政策課 人権センター 市民文化部	東員町／町民課	
伊勢市／人権政策課	菰野町／総務課	
松阪市／人権・男女共同参画課	朝日町／保険福祉課	
桑名市／人権センター 人権政策課	川越町／福祉課	
鈴鹿市／人権政策課 男女共同参画課	大台町／町民福祉課	
名張市／人権・男女共同参画推 進室	度会町／長寿福祉課	
尾鷲市／政策調整課	大紀町／住民課	
亀山市／文化スポーツ課	南伊勢町／環境生活課	
鳥羽市／市民課	紀北町／住民課 福祉課	
熊野市／市長公室	御浜町／住民課	
いなべ市／人権福祉課	紀宝町／企画調整課	
志摩市／人権市民協働課		
◎伊賀市／人権政策課		

※「◎」は代表、「○」は副代表

#### (3) 現状および課題

国内でパートナーシップ制度を導入する自治体は、平成31(2019)年4月時点の20から令和2(2020)年4月時点でおおよそ50に増加し、性的指向や性自認による不当な差別的取扱いを解消し、性の多様性の正しい理解を広めようという機運が高まっています。

しかし、LGBT等への誤解や偏見は未だに社会に根強く、不当な差別的取扱いにより生きづらさを抱えている当事者は少なくありません。

こうしたことから、LGBT等の人権課題について、関心と理解をより深めていくことが必要であり、また、性的指向や性自認に関わらず全ての人が住みやすい地域づくりをめざし、県と市町で連携と情報共有を図るとともに、啓発等の取組をさらに推進していく必要があります。

#### (4) 開催実績

- |      |        |     |                                                                                                                        |
|------|--------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和2年 | 9月18日  | 第1回 | ①各市町でのLGBT支援施策の取組について<br>・伊賀市の取組紹介<br>・いなべ市の取組紹介<br>・紀宝町の取組紹介<br>②多様な性的指向・性自認に関する条例（仮称）制定について～県の取組状況説明～<br>③今後の進め方について |
|      | 10月29日 | 第2回 | ①名張市の取組紹介「性の多様性を認め合うまち・なばり」宣言<br>②「性の多様性を尊重し、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例（仮称）」のあり方（中間案）等について<br>③市町ができる取組について<br>④今後について        |
|      | 12月22日 | 第3回 | ①「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例（仮称）」のあり方（最終案）について<br>②アンケート調査結果について<br>③今後の進め方について                                    |

#### (5) 検討状況

- ① 第1回検討会議
  - ・伊賀市の取組として、多様な性のあり方を知る職員ガイドライン、伊賀市パートナーシップ宣誓制度要綱の一部改正と公文書等の性別記載欄の見直し状況を紹介しました。
  - ・いなべ市の取組として、「いなべ市性の多様性を認め合う社会を実現するための条例」の制定を中心に、LGBT等支援施策の取組を紹介し、意見交換を行いました。
  - ・紀宝町の取組として、「多様な性」について特集し、全国広報コンクールで令和2（2020）年に総務大臣賞を受賞した紀宝町の広報誌「広報きほう」を紹介し、意見交換を行いました。
  - ・県ダイバーシティ社会推進課より、「多様な性的指向・性自認に関する三重県条例（仮称）（素案）」について説明し、意見交換を行いました。

## ② 第2回検討会議

- ・名張市の取組として、「『性の多様性を認め合うまち・なばり』宣言」を中心とした取組を紹介し、意見交換を行いました。
- ・県ダイバーシティ社会推進課より、「性の多様性を尊重し、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例（仮称）」のあり方（中間案）を説明し、意見交換を行いました。
- ・各市町ができる取組について、担当者同士で意見交換を行いました。

## ③ 第3回検討会議

- ・県ダイバーシティ社会推進課より、「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例（仮称）」に係る進捗状況等について説明し、意見交換を行いました。
- ・各市町の取組やLGBT等支援に係る課題点、県と市町が連携してできる取組についてアンケート調査を行い、その結果について情報共有を行いました。アンケート結果をふまえて今後の検討会議の方向性について協議しました。

## （6）取組成果

LGBT等への支援施策に係る先進市町の取組について情報共有を行い、会議に参加した市町それぞれが今後の取組や課題について話し合うことができました。また、「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」の制定に向けて、県内市町で情報共有し、意見交換を行うことができました。

## （7）今後の方針

LGBT当事者等支援と性の多様性に関する啓発の取組について、県と市町の情報共有と連携を図り、全ての人が住みやすい地域づくりに向けて検討を行うという目標を概ね果たすことができたことから、令和2（2020）年度で本検討会議は終了し、今後は、本会議の成果等もふまえ、LGBT等の性の多様性に関する施策について県と市町がさらなる連携協力を図っていきます。

## （8）取組に対する自己評価

目標に対する取組成果が概ね発揮されました。

（判断理由等）

LGBT当事者等支援と性の多様性に関する啓発の取組について、県と市町の情報共有と連携を図り、性的指向や性自認に関わらず全ての人が住みやすい地域づくりに向けて、一定の成果を得ることができました。